

平成 21 年 5 月 29 日

県 内 景 況

株式会社 鹿 児 島 銀 行

株式会社 鹿児島地域経済研究所

最近の県内景況は、生産活動が低調で、雇用情勢が一段と厳しさを増すなか、個人消費、観光関連も低調に推移するなど、全体では悪化している。

生産活動は、電子部品関連が低調で、食料品関連も伸び悩んでいる。個人消費関連は、大型小売店（百貨店・スーパー）販売額や新車（乗用車・軽自動車）販売台数が前年を下回った。投資関連では、公共工事や民間建築工事、住宅着工ともに低調。その間、観光入り込み客数は前年を下回った。

【生産活動】 ... 低調

電子部品関連は、IC 生産が引き続き低調ながら、在庫調整の進展により、一部の用途向けは底入れしつつある。

4月の**生コン**生産は、民間工事向けは横ばいながらも、公共工事向けが前年を下回ったため、全体で前年を下回った。

4月の**紙パルプ**生産は、前年比 19.9% 減と引き続き低調に推移している。

木材関係は、住宅建設向け需要が弱いことから、製材品が生産、出荷ともに低調に推移している。

4月の**大島紬**生産は、前年比 31.4% 減となり、減反基調に変化はない。

焼酎の生産は減少傾向にあり、出荷も伸び悩んでいる。

3月の**かつお節**生産は、8か月連続で前年を下回った。

【畜産関連】 ... 総じて横ばい

肉用牛（和牛）の枝肉相場は前年を下回る水準に変わりはなく、子牛価格も前年を下回っている。豚肉相場はやや上昇するも、前年の水準には及ばない。ブロイラー相場、鶏卵相場はともに横ばいで推移している。

【茶】 ... 市況の低迷続く

本年の一番茶は、リーフ茶離れによる需要低迷に加え、初期の低温による生育低迷や品質重視の慎重な買い姿勢から、生産量、平均価格ともに前年を下回った。

【消費関連】 ... 低調

3月の百貨店売上げは、土曜日が1日少なかったものの、百貨店の閉店セール効果により、前年比2.1%増と19か月ぶりに前年を上回った。3月のスーパー売上げは、食料品が前年並みとなったものの、衣料品が大幅に減少したことから、2.9%減と2か月連続で前年を下回った。なお、大型小売店（百貨店+スーパー）販売は、8か月連続で前年を下回っている。

4月の乗用車新車販売台数は、20.9%減と9か月連続で前年を下回った。車種別にみると、普通車は36.1%減、小型車は11.3%減といずれも前年を大幅に下回った。また、軽自動車も15.3%減と5か月連続で前年を下回った。

【観光関連】 ... 低調

4月の離島を除く主要ホテル・旅館の宿泊客数は、前年比15.2%減と3か月連続で前年を下回った。景気悪化による個人消費の低迷に加え、前年放映された大河ドラマ「篤姫」効果の反動などが要因とみられる。地区別でも全地区でマイナスとなり、なかでも篤姫ゆかりの指宿地区の減少が目立つ。一方、種子島・屋久島地区は、前年をやや下回った。この間の主要観光施設入場者数も、全般に伸び悩んだ。

【投資関連】 ... 低調

4月の**公共工事**は、件数が前年を上回ったものの、請負金額は前年の反動もあり下回った。

3月の**民間建築工事**は、棟数、床面積、工事費予定額の全てにおいて前年を下回った。

3月の**新設住宅着工戸数**は、持家、貸家、分譲いずれも前年を下回り、全体で前年比 52.0% の大幅減となった。

4月の主要**建設資材**卸売業者の売上げは、前年を下回った。

【貿易関連】 ... 低調

3月の**輸出額**は、半導体等電子部品やゴムタイヤ及びチューブが前年を上回ったものの、液晶標示板等の科学光学機器が前年を下回ったこと等により、全体では 11.8% 減と 2 か月ぶりに前年を下回った。**輸入**は、原油及び粗油や穀物及び同調整品が前年を下回ったことから、全体では前年比 67.7% 減と 5 か月連続で前年を下回った。

【雇用情勢】 ... 悪化

3月の有効求人倍率は、前月を 0.03 ポイント下回る 0.39 倍となり、雇用情勢は悪化している。

【金融情勢】 ... 伸び悩み

資金需要は、企業の運転資金が伸び悩み、設備資金が弱含んでいる。

【企業倒産】 ... 一服

4月の**企業倒産**は、件数が 3 件と前年同月（11 件）を下回り、負債額も 2 億 3,000 万円と前年（25 億 3,400 万円）を下回った。

以上

【本件に関するお問い合わせ】 (株)鹿児島地域経済研究所(099-225-7491)